

## 家庭用エアコン取外し等での安全確保に関する課題と取組の方向性(論点整理)

### 安全確保に関する論点

#### コンプレッサ破裂の防止

- 取外し時の冷媒回収作業（ポンプダウン）は必要不可欠。  
※冷媒の地球温暖化係数が高いため。
- コンプレッサ破裂は、誤操作や知識不足が原因。

知識のある作業者が正しい手順で作業実施すべき

#### 取外し作業をする人に関する課題

- エアコンの撤去工事を行うには電気工事の登録が必要。
- エアコン取外しをする人は事業者だけでなく様々な実態がある。  
⇒・自分又は家族が取外した経験のある人は5%、自分で取外してみたいと感じる人は1/3。  
・今後、処分やリユース、移設を考えると、依頼先が「分からない」が35%でトップ。  
・取外し事業者や引取り先をインターネットで探す人が多い。(アンケート調査結果)
- ネット上には様々な情報。ネット上のサイト動向を注視すべき。

#### 消費者の意識と情報提供

- コンプレッサ破裂の危険を知らない人は8割以上(アンケート調査結果)。
- 取扱説明書の分量が増え専門用語も増して、消費者には分かりづらい。  
⇒事業者は注意・警告をもれなく記載せざるを得ない。
- 室外機に注意喚起を添付するなど取り組めないか。
- 情報を必要な人にどう伝えるかが課題。

#### 留意すべき事項

- フロン放出についての消費者に対する注意喚起。  
(温室効果の低い冷媒については国・各事業者が開発に取り組む)
- 機器指定以外の冷媒ガス等の対応。  
⇒指定冷媒以外の封入が不具合となることを7割が知らない(アンケート調査結果)。
- エアコン設置工事に係る消費者と事業者のあるべき関係。

### 取組の方向性

#### 基本的な考え方

エアコンの取外しを消費者はすべきではない

消費者が自ら取外し作業をしないように呼びかける上では、その受け皿を用意することが必要

併せて、エアコンは他の家電とは異なり、初歩的な作業手順のミスが、重大な事故につながることを認識を高めていくことが重要

#### 必要な取組

- ・ 関係者の協力による  
安全な取外しへ導く仕組の整備・周知
- ・ 消費者に対するエアコン撤去を中心とした  
安全面での注意喚起  
(消費者と事業者とのギャップを埋める取組を含む)
- ・ 事業者は取外し時の冷媒回収作業に関する  
安全確保を再徹底
- ・ フロンによる地球環境への影響に関する  
正しい情報の提供